

輝け！シン尾花沢中

まちのさかえは 国の富 はたらくものの よろこび

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

自分たちの生活をよりよいものに創り上げる～生徒会総会～

4 月 25 日（金）に、尾花沢中学校生徒会活動の活動方針・内容等を決める生徒会総会が開かれました。

会長の大類鳳馬さんが、「よりよいシン尾花沢中を創っていきましょう」と言いました。そうです！生徒会活動を通して、自分たちの生活をよりよいものに創り上げることができるのです。



私は、よりよいシン尾花沢中を創り上げるために大切なことを 3 つ説明しました。

「**自尊**」 1 つ目は、課題を自分事として捉え、自分の意見を持つこと。すなわち、自分の意見を尊重する、自分を大事にするという意味で「自尊」ということにします。総会で、発言者は自分の意見を「～です。理由は～」と論理的に表現していました。また、執行部や専門委員長の回答を受け「わかりました。私（のクラスで）も～」と自分事として考えていました。

「**他尊**」 2 つ目は、他人の意見を尊重すること。一般的にはない言葉ですが「他尊」ということにします。総会では、執行部や専門委員長が、どんな発言に対しても「ありがとうございます。それについては～」と回答していました。自分の考えとは異なる視点を与えてくれた発言者に対する感謝は、多面的・多角的な視点で物事を考える力を培ってくれます。

「**対話**」 3 つ目は、合意形成のためにしっかりと議論すること。異なる考えでも、それぞれのよさを見つけながらよりよいものにし、納得した形で決定することが求められています。対話ができないと、威圧や暴力に訴えることとなります。行き着くところが、戦争です。



総会での発言内容は、実に興味深く素晴らしいものでした。修正を求める意見。例えば、整美委員会の活動計画については「花植が 11 月だと寒いから、あたたかい時期にしてほしい」など。

また、本質的な意見。図書委員会の読書クラスマッチに対して「競争で本当に読書が好きになるのか？」など。

会長の鳳馬さんは「この会で決まったことはしっかり守っていこう」とも訴えました。

自分たちで創り上げた自分たちの生徒会活動計画を、次は責任をもって実行することで、よりよいものにしていきたいと思います。「一人一人が主人公」。自分たちの生活は自分たちで創り上げるのです。



【文責 校長：工藤雅史】